

教科名	社会	科目	公民A	単位	2
-----	----	----	-----	----	---

1. 教科書および副教材・参考書

中学社会 『歴史 未来をひらく』（教育出版） 『歴史の完全学習』（正進社）  
 中学社会 『公民 未来をひらく』（教育出版） 『公民の完全学習』（正進社）

2. 授業の目標および内容

中学 2 年生までに学んできた歴史を引き続き学習します。江戸幕府による長い時代が終わり近代化を果たした欧米列強と共に肩を並べてどのように国際関係を築いていったのか、そして現在の日本や国際社会の歴史がどのように歩んでいくのかを学習していきます。また、3 学期には公民分野も扱い、我々の社会を取り巻く権利や制度を学習します。「今」を強く生きる現代人として、先人たちの築き上げた歴史や今の社会を取り巻く権利や義務について様々な学習活動や思考する機会を設け、知識の暗記だけではなく、現存の知識を生かすことのできる「思考力・判断力・表現力」の定着を図っていきます。変化の予測のできない現代社会の中で主体的に、多面的・多角的に考察・判断し、それを表現することのできる力を養っていくことが大きな目標です。

3. 試験について

	1 学期		2 学期		3 学期
定期試験	一次 5 月	二次 7 月	一次 10 月	二次 12 月	期末 3 月
学力試験			第 1 回 9 月		第 2 回 2 月

4. 内容・難易度について

①定期試験：50 点満点で出題します。（公民 A・公民 B 合わせて 100 点満点となります。）  
 試験範囲はその都度指示しますが、基本的には授業で扱った内容から出題します。初見の資料などを出題する場合がありますが、授業内容を踏まえ考えで解答できる程度のもので、授業内容を逸脱するような問題は出題しません。

②学力試験：50 点満点で行います。（公民 A・公民 B 合わせて 100 点満点となります。）  
 中学 1 年生からその時期までに学習した「歴史的分野」及び「公民的分野」のすべてを範囲とします。

5. 課題・補習について

適宜、必要に応じて行います。

## 6. 評価の視点

定期試験の点数を基本に、平常点(課題の提出状況や授業態度など)を含め、総合的に判断します。

## 7. 年間指導計画

学期	単元	学習内容	備考
1	第5章 近代の幕開け  第6章 近代の日本と世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペリー来航と開国</li> <li>・世直しと江戸幕府の滅亡</li> <li>・戊辰戦争と新政府の政治方針</li> <li>・明治維新の諸改革</li> <li>・岩倉使節団</li> <li>・自由民権運動</li> <li>・内閣制度の成立</li> <li>・日清戦争と日露戦争</li> <li>・日露戦争後の日本と韓国併合</li> </ul>	各事項に関連性を持たせながら、ICT 機器等を活用し視覚的にもわかりやすく授業を行う
2	第7章 二度の世界大戦と日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1次世界大戦</li> <li>・第1次大戦後の社会</li> <li>・ワシントン体制とヴェルサイユ体制</li> <li>・第1次世界大戦後の社会と民族自決</li> <li>・政党政治の展開と大正デモクラシー</li> <li>・恐慌の時代と軍国主義の対等</li> <li>・満州事変と日中戦争</li> </ul>	日本と諸外国のつながりについて学び、国際的な視野で社会を見る目を養う
3	第7章 二度の世界大戦と日本  公民分野 第2章 人間を尊重する日本国憲法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2次世界大戦</li> <li>・太平洋戦争と日本の敗戦</li> <li>・日本の民主化と日本国憲法</li> <li>・憲法が保障する基本的人権</li> </ul>	現在の日本の政治システムなどを憲法の条文に触れながら学ぶ